

平成26年1月31日（金）

の



伸びる



多治見市立笠原中学校報N11

春を待つ



11月の終わりに植えた750株のパンジーが順調に育っています。本格的な春の訪れを待ちつつ少しずつ大きくなっています。

午（うま）年の1年がスタートして1ヶ月がたちました。草原をたくましく疾走する馬のごとく、笠原中も平成26年度に向けて新たな取り組みを模索しています。12月には保護者アンケートを行っていただき誠にありがとうございました。学校への評価をいかし、生徒一人ひとりがさらに自己の成長を目指してがんばれる学校、その成長をさらに支援できる学校づくりに全力で取り組んでいきます。今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

冬休み明け集会

1月8日（水）冬休み明けの集会で

1年生代表の釜倉未来さんは

「学年目標の『ZENSHIN（前進・全進・善進）』の達成を目指して全力で取り組みます。」

2年生代表の加藤豪さんは

「当たり前のことを当たり前にやりきれるようにして、来年度 最高学年として笠原中をリードしていく底力をみんなで高めていきます。」

3年生代表の加藤万絢さんは

「1年生・2年生に最高の形で胸をはって財産を引き渡せるようがんばります。」

校長は

「今年度もあと数ヶ月となりました。短い期間ですが、1年間のまとめ、そして新年度の準備を行う大切な時期です。学習、部活動、係活動、合唱と皆さんのがんばりどころはいっぱいありますが、何か一つ全力で取り組み、それをぐっと引き上げてみましょう。そうすることで、他の活動も自然に高まってきます。学級全体としては「プライド活動」（誇りとなる活動）の完成に向けて精一杯取り組みましょう。」

と語りました。

底冷えのする体育館での集会でしたが、笠中生の熱い心意気を感じられました。



はあとふる

今年度の笠原中学校を語る上で欠かせない言葉があります。『はあとふる』です。

- ① は げまし合う
- ② あ いてを思いやった言動
- ③ と もだちと認め合う
- ④ ふ ざけてじゃれあわない
- ⑤ る ーる（ルール）を守る

互いを「かけがえのない存在」として、みんなで高め合っていくことを願って生徒会代表委員会が生み出した言葉です。これまで、仲間のよさやうれしかった言動などを紹介し合う「はあとふるカード」の活動、学級や学校全体の傾向をつかむための「はあとふるアンケート」などを展開してきました。その取り組みは他の委員会にも伝わりました。生活委員会は登下校の際の安全性と、自分たちを支えてくださっている地域の皆さんへの感謝の気持ちを高めようと「はあとふる登下校活動」を現在、行っています。



付けた力を問う



本年度も笠原中学校は笠原小学校とともに、文部科学省の指定による「研究開発校」として英語教育に取り組んでいます。毎年2回、大学教授、県教育委員会の先生方をはじめ多くの皆さんに英語の授業を参観していただき、ご指導を受けています。

1月24日(金)には、3年A組での授業を見ていただき、「9年間の英語学習の出口としてすばらしい姿である。」と高い評価をいただきました。

この仲間と共いきいきとコミュニケーションする生徒の姿は、英語だけではなくすべての教科で培っている授業への取り組みがバックボーンとな

っています。

「笠原校区幼保小中一貫教育」の4本柱の一つとして幼稚園・保育園からスタートしている英語教育の成果をまた見ることができました。

笠原校区一貫教育充実プロジェクトより

毎月第三日曜日の「ノーテレビ・ノーゲームデー」はご家庭に定着したでしょうか。親子でのふれあいの時間や家庭学習の取り組みなど、充実した時間が増えることを願っています。

家族で情報モラルについての話し合

いをしましょう

多治見市教育委員会

メールやゲームなどのインターネットを通じた利用は、とても便利で楽しいものです。しかし、利用の方法や内容によっては子どもたち同士でトラブルが起きたり、トラブルに巻き込まれたりしています。中には、子どもにそのつもりはなくても相手を傷つけてしまったり、興味本位でつい利用してしまった時に危険を伴うことがあったりします。

そこで、日頃またはこれから子どもが利用する家族は、トラブルの未然防止のために、子どもと一緒に情報モラルについて以下を参考にしながら話し合っておくことが大切です。

(例)

- ・利用する場所(居間など)や、時刻や時間を決める。
- ・家族と一緒に話などをしているときや、食事中には利用しない。
- ・他人を傷つけるような利用の仕方をしない。
- ・知らないところからきたメールなどには返信をしない。
- ・知らない人に個人情報(名前、住所、電話番号、メールアドレスなど)を教えない。

